

令和5年度

田原市観光まちづくり実践塾

活力ある地域と人を育む観光まちづくりを考える

Wellness Tourism

伊良湖温泉や地域資源の活用をテーマに「田原市観光まちづくり実践塾」を開催します。ウェルネスツーリズムを研究する杏林大学から温泉・観光・保健分野に携わる講師を招き、観光の視点だけではなく健康保健分野の視点を取り入れた「ウェルネスツーリズム」を考えるため、実践的な講義とワーキングを行います。興味のある方はどなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。

開催日時 第1回: 11月 9日(木)
第2回: 12月 7日(木)
第3回: 1月25日(木)
第4回: 2月13日(火)
第5回: 調整中後日発表
いずれも19:00~21:00

開催場所 田原市役所:講堂(南庁舎 6F)
第3回のみ大会議室(北庁舎1F)

募集人数 30名程度

参加対象 田原市内外の事業者、市民で
観光まちづくりに関心のある方

申し込み 裏面の参加申込用紙に記入のうえ、
FAXまたはEメールにて



※田原市と杏林大学は令和5年8月18日に
包括連携協定を締結しました。

Wellness Tourism in TAHARA

IRAGO Spa



参加
無料

田原市観光まちづくり実践塾 (全5回)

講師		講演テーマ・専門分野
第1回 11月9日 (木) 石井 博之 杏林大学保健学部 教授 地域連携センター長 専門：運動と健康、年齢別に 適切な運動 健康寿命延伸		環境を活かした健康で活力ある生活と観光まちづくり -市民が田原市の良さを実感し観光に活かすには- 運動を楽しみ、継続しながら健康を維持する秘訣を伝授します。
第2回 12月7日 (木) 古本 泰之 杏林大学観光交流文化学科 教授 地域連携センター副センター長 環境省 国民保養温泉地専門委員 専門：観光開発論		地域資源を活用した観光開発・観光振興 観光まちづくりにおいて重要とされる「地域資源の発見」と観光資源としての利活用について、ウェルネスの視点も入れつつ学んでいきます。
第3回 1月25日 (木) 北出 恭子 杏林大学地域総合研究所客員研究員 温泉家/スプリングラボ(合)代表 日本ヘルスツーリズム振興機構理事 専門：温泉概論・温泉心理学		温泉の知識と心身への健康・美容効果 温泉に関する基礎知識と、温泉資源がもたらす心とからだへの健康や美容の効果について、国内外の事例をもとにお伝えします。
第4回 2月13日 (火) 中川 智博 杏林大学地域総合研究所客員研究員 (株)Tokyo Creative代表 レッドホースコーポレーション執行役員 専門：観光プロモーション・ふるさと納税		事例にみる地域で稼ぐ仕組みづくり 「地方誘客のマーケティングの専門家」として日本各地の魅力を発掘し、世界に発信してきた多くの事例をもとに、地域ビジネスのノウハウについてお伝えします。
第5回 3月 (調整中後日発表) 小堀 貴亮 杏林大学観光交流文化学科 教授 環境省 国民保養温泉地専門委員 日本温泉協会学術部委員 専門：温泉観光学		田原市におけるウェルネスツーリズムの可能性 田原市の地域性を活かしたウェルネスツーリズムについて検討したうえで、杏林大学温泉観光学ゼミで研究している学生達(ワカモノ・ヨソモノ)と語り合いながら、その可能性を考えていきます。

参加申込 田原市観光課 宛

FAX 0531-27-7082
kanko@city.tahara.aichi.jp

申込期限
10月31日(火)

フリガナ 名前		事業者名	
住所	〒		
電話			
FAX			
E-mail			

参加可能な開催日に○をつけてください。
(申込時の予定で結構です)

第1回	11月 9日(木)	<input type="checkbox"/>
第2回	12月 7日(木)	<input type="checkbox"/>
第3回	1月25日(木)	<input type="checkbox"/>
第4回	2月13日(火)	<input type="checkbox"/>
第5回	3月 (調整中)	<input type="checkbox"/>

問合せ先 田原市観光課 TEL : 0531-23-3522